

伝えあい 思いあい

スーパー元気さわやかキャンペーン

A

ブロック

テーマ

伝え合おう 思いやりの心



1年生「道徳：ほっかほか」

道徳の授業において、自分の周りにある色々な挨拶を探し、ワークシートに書いたり友達と挨拶し合ったりした。

- ◎自分の周りにある挨拶を探したり、友達と実際に挨拶し合ったりすることで、登校時に進んで挨拶できる児童が増えてきた。
- ◎プリントを配付するときも、「はい、どうぞ。」「ありがとう。」と言いつ姿が見られ、自分や友達を大切にしている態度が学級全体に広がった。

2年生「道徳：きらきらみずき」



普段は見つけにくい自分の良いところを、友達と交流しながら伝え合い、終末には保護者の方々から書いていただいた手紙を読んで自分の良いところを再発見した。

- ◎友達の長所を伝え合う活動や、保護者からの手紙を読む活動を通して、他者に気持ちを伝えあうことの良さを実感することができた。
- ◎自分の長所を知り、さらに伸ばそうとする大切さに気付くことができた。

道徳の授業において、場面ごとにどんな言葉かけが必要なのか、かけられた言葉によって、そのあとの気持ちはどう変わっていくのかを考えさせた。その後、これまでのあったか言葉についてふりかえり、気球型のメモにその言葉と気持ちを記入した。

- ◎「今の言葉は強く言い過ぎかも。」「こうやって言ったほうが良いと思うよ。」などの自分達の言葉を自分たちでよりよくしようとしている。
- ◎体育の時間などに励ましの言葉が積極的に出るようになった。

3年生「道徳：ほかほか言葉」



4年生「道徳：かべに付けた手のあと」



来年から高学年になる4年生として、よりよい学校生活をめざすためにできることを考え、学校の一員としてできる事を考えさせ、取り組ませていった。

- ◎低学年のために自分たちができる事を考えることができた。
- ◎自分で設定した目標に向けて、挨拶や清掃を頑張る子が増えた。

5年生「道徳：落とし物」



友達や家族、地域の方々などについての思いやりや温かな行動についての「思いやり川柳」を作成し、思いやりの心を育んだ。

- ◎思いやりについて考える取組をとおして、身近な方々への感謝の気持ちをもつことができた。

6年生「道徳：会話のゆくえ」

情報機器の取り扱いやトラブルについて知り、自由に使えるインターネットだからこそ気をつけなくてはいけないことを考えさせ、善悪の判断について判断し、責任ある行動について考えた。

- ◎スマートフォンのトラブルについて、身近なものとして考えられた。
- ◎トラブルを回避するために気をつけることを具体的に考えることができた。

